



# 体育科学習指導案

開 (3 / 8時間)

ねらい : ICT 機器を活用して、自己が取り組んだ動きと正しい運動の行い方を比較・検討しながら課題解決に向けた練習に取り組むことで、正確な前転系の技を身に付けることができる。

準備	PC (児童)、ipad (教師) ロイロノート (学習支援ソフト) 学習カード 筆記用具	
時間	資質・能力を育成するための学習活動 ○予想される児童生徒の反応 (意識)	資質・能力を育成するための指導上の留意点 目的 ○手立て、配慮事項 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">◇評価</span>
12分	<p>&lt;学習課題の把握&gt;</p> <p>1 本時の学習の見通しをもつ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     &lt;めあて&gt;                      正しい姿勢を意識した前転系の技を身に付けよう                 </div> <p>S スムーズに回転することができなかった。</p> <p>S 足が上手に開かなかったなあ。</p> <p>T 今日は、新たに跳び前転を取り入れて、3つの前転系の技を練習してみよう。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">                     マット運動の特性を理解する力を育成するために                 </div> <p>○技の習得に必要なスモールステップとして、感覚づくりの運動を取り入れる。</p> <p>○前時の振り返りで明らかになった自己課題を再確認していく。</p> <p><b>○新たに取り組む「跳び前転」について技のポイントをロイロノートを活用して確認していく。</b></p>
25分	<p>&lt;課題の追究&gt;</p> <p>2 グループごとに前転系 (3つ) の練習に取り組む。</p> <p>T 今日は、3つの技をグループごとにローテーションしながら練習してみよう。</p> <p>S いまいち上手くできないな。 連続前転と開脚前転のポイントを確認してみよう。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>S 体が縮こまってしまうので、腰角度が狭くなっちゃうな。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>S 怖くて跳び込むことができないよ。どうしよう。</p> <p>S スムーズに回転できるようになったので、回転後の姿勢も意識してみよう。</p> <p>3 各自の能力に応じた技を選定し、発表する。</p> <p>S 練習では上手くいったけど、本番では上手くいかなかった。</p> <p>S 意識するポイントが複数あるので全部意識できるかな。</p> <p>T 技のポイントを踏まえて、自分の演技した動きを振り返ってみよう。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">                     正確な運動技能を身に付ける力を育成するために                 </div> <p>○課題解決に有効な練習ができる場を設定していく。</p> <p>○異能力集団を形成し、教え合いを通して互いの技を見合い、自己課題を明確にしていく。</p> <p><b>○動画を撮影し、自己の運動技能を確認するよう助言していく。</b></p> <p>○未習得の運動技能がある場合は、運動技能ポイントを繰り返し確認するよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     ◇連続前転や開脚前転を安定して行うことができる。 &lt;観察&gt; 【知識・技能】                 </div>
8分	<p>&lt;本時のまとめ&gt;</p> <p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>S はじめて跳び前転にチャレンジしたけど、腰の開く角度が狭くなってたなあ。</p> <p>S 跳び前転が安定してできるように、友だちに動きを見てもらいながら練習していこう。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">                     自己課題を把握し、課題解決に向けた練習方法を選定する力を育成するために                 </div> <p>○本時の学習で上手くできた部分と上手くできなかった部分を振り返らせ、自己課題を明確にすることで、次時の学習につなげていく。</p> <p>○課題解決につなげられた児童に、どのような練習が効果的だったかを発表してもらい、全体で共有できるようにする。</p>